



# はくび通信

第 20 50 22 号



## ゆく年くる年

### ご挨拶

令和4年も、新型コロナウイルス収束とはならず、共存していくための工夫を凝らす年となりました。当寺も脈々と引き継がれてきた行事を絶やさぬよう、皆様が無事にご参加いただけるための工夫を考えています。本年も皆様の身心を暖かさで満たし、元気に過ごしていただけるお寺であるよう、日々精進してまいります。

### 令和5年の干支暦「癸卯」

令和5年の干支暦は「癸卯（みずのとう）」にあたります。「癸」は「十干」、「卯」は「十二支」のひとつで、「干支」とは十干と十二支を組み合わせたものを指します。

五行説では、癸は「水」、卯は「木」の性質を持ち、「木を育成させる水」を意味することから「水生木」と言い、相性の良い相生関係にあります。つまり、暦上の相性は良いといえます。

癸は、水の性質の中でも静かで穏やかな「陰」の部類に入り、雨や露などの適度な水で木を成長させます。また、十干の最後となり、次の新たな十干へとむかう年となります。

卯は、動物では兎（うさぎ）となり、普段の姿からは穏やかさ、

飛び跳ねる姿からは飛躍、多産からは新しい発展を暗示する年となります。



令和5年は穏やかな流れの中でありながらも、新しい局面へと進む準備が整い、動き始める年です。古いものにとらわれず、新しいものに臆せず、物事を進めていくことができれば、今まで実直に積み上げてきた努力や功德が開花する兆しを感じることもできるかもしれません。また納音（なっちゃん）では「金箔金」にあたりますので、自分の本質を見失うことなく、自分を磨くことが成功へのカギとなることでしょう。

皆様のご健勝であり、希望に満ちた1年となりますよう心より祈念申し上げます。

萬松寺 四十二世住職

大藤 元裕

## 初詣大般若会

正月元日(日) 2日(月)

10時～16時

受付時間: 9時半～15時半

場所: 不動堂・稲荷堂

受付: 本堂1階

大般若 一万円

大般若札・破魔矢(大)・身代わり餅・曆

祈 禱 五千円

御札・破魔矢・身代わり餅・曆

祈 願 二千元

御札・干支絵馬・曆

## 初稲荷大祭

1月5日(木)

11時～14時

受付時間: 11時～13時半

場所: 稲荷堂

受付: 総合受付

大般若 一万円

大般若札・破魔矢(大)・身代わり餅・曆

祈 禱 五千円

御札・破魔矢・身代わり餅・曆

ご祈禱後、粗食を召し上がっていただきます。  
※状況により、お持ち帰りいただく場合がございます。

御供物 御供え餅(献餅) 三千元/一升 大ローソク 千円 中ローソク 五百円

当日のご来寺が難しい場合はご不参としてご祈禱を行い、御札・御供物などは送らせていただきます。お申込み時にその旨をお伝えください。

1月

1日(日)  
2日(月)

初詣大般若会 不動堂・稲荷堂  
身代不動明王、白雪稲荷のご真前にて、大渦のない一年を祈禱する大般若会を行います。

2日(月)  
3日(火)

正月合同法要 白龍ホール  
墓地や納骨堂に眠るご先祖様や大切な方に、新年のご挨拶を兼ね追善供養を営みます。

5日(木)

初稲荷大祭 稲荷堂  
白雪稲荷のご真前にて、仕事始めの開運祈禱を行います。

14日(土)

昇龍焚き上げ 境内  
正月飾りや古い御札、お守りを読経と淨火によりお焚き上げし、併せて凶返しの護摩焚きを行います。

28日(土)

初不動護摩大祭 不動堂  
不動明王の初縁日に、身代不動明王のご真前にて、身体健全・災難消除の護摩祈禱を行います。

2月

3日(金)

節分会 本堂  
立春の節分に、開運招福の祈禱と豆まきを行います。  
星祭 不動堂  
当年星と本命星を祀り、除災招福の祈禱を行います。

2月

15日(水)

涅槃会 本堂  
お釈迦様が亡くなられた日に、遺徳を慕い報恩感謝の法要を営みます。

3月

1日(水)

初午会 稲荷堂  
旧暦初午の日に、白雪稲荷のご真前にて、五穀豊穰・商売繁盛の祈禱を行います。

3日(金)

信秀忌 本堂  
万松寺を建立した織田信秀公の命日供養を営みます。

5日(日)

災害物故者追悼法要 本堂・境内  
震災などの災害で亡くなった世界中の方を悼み、復興・再生への祈りを込めて、追悼法要を営みます。

22日(水)  
21日(火)

春彼岸合同法要 白龍ホール  
彼岸(浄土)と此岸(現世)が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を営みます。

4月

8日(土)

花まつり 境内  
降誕会を祝し、花御堂の誕生仏に甘茶を灌ぐ花まつりを行います。  
降誕会 本堂  
お釈迦様が花園でお生まれになった日に、誕生を祝し報恩感謝の法要を営みます。

万松寺日記

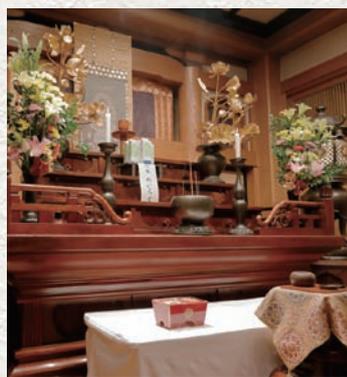
先住忌

令和4年11月27日(日)  
先代住職の十七回忌法要を本堂にて営みました。



成道会

令和4年12月8日(木)  
お釈迦様が悟りをひらかれた日に、偉業を称え報恩感謝の法要を営みました。



秋葉大祭

令和4年12月16日(金)  
秋葉三尺坊大権現のご真前にて「火盗潜消」「商売繁盛」などの祈禱を行いました。

スジャータまつり

令和4年12月4日(日)  
お釈迦様が悟りをひらかれた日を祝うとともに、お釈迦様を乳粥の布施により救ったスジャータの功績を称えるお祭りです。毎年12月に開催しています。イベントでは法要の後に、乳粥のエピソードを横し、ご参拝のみなさまに牛乳をお配りしました。地元アイドルOS☆Uの皆さんと大須学区のこども達がスジャータ姫に扮し、まつりを盛り上げてくれました。



23日(日) 4月	春姫忌 本堂 初代尾張藩主正室春姫様の命日供養を営みます。
28日(日) 5月	春期不動明王大祭 不動堂 28日の不動縁日の中でも縁の強い春と秋に、大祭として大般若会を行います。
9日(日) 7月	お盆合同法要 白龍ホール ご先祖様や大切な方が浄土から現世に帰ってくる新盆の時期に、追善供養を営みます。
8月	お盆合同法要 白龍ホール のぶながホール ご先祖様や大切な方が浄土から現世に帰ってくる旧盆の時期に、追善供養を営みます。
10日(木) 11日(金) 12日(土)	迎え火 本堂前 夕刻に松明を焚き、ご先祖様や大切な方の精霊を現世へお迎えします。
15日(火)	送り火 本堂前 夕刻に松明を焚き、ご先祖様や大切な方の精霊を浄土へお送りします。
22日(火)	旧暦七夕 本堂 願いを込めて奉納された短冊や護摩木に、諸願成就の祈禱を行います。

24日(木) 8月	施食会 本堂 ご先祖様と全ての精霊に、水の子を供え、甘露門を読経する追善供養を営みます。
24日(日) 25日(月) 9月	秋彼岸合同法要 白龍ホール 彼岸(浄土)と此岸(現世)が近くなることされる彼岸の時期に、追善供養を営みます。
28日(木)	秋期不動明王大祭 不動堂 28日の不動縁日の中でも縁の強い春と秋に、大祭として大般若会を行います。
3日(日) 12月	スジャータまつり 不動堂前・境内 成道会を祝うとともに、苦行で倒れたお釈迦様を救ったスジャータの功績を称えます。
8日(金)	成道会 本堂 お釈迦様が悟りをひらかれた日に、偉業を称え報恩感謝の法要を営みます。
31日(日)	除夜法会 鐘楼堂・白龍ホール 新たな年も良い氣に恵まれるよう、除夜の鐘をついていただきます。



## 昇龍焚き上げ

◆ 令和5年 1月14日(土) 17:00～(受付 16時半～17時半) 受付:総合受処前 会場:イベントスペース

■参加特典■  
護摩祈禱に参加された方には浄化で調理した「焼き芋」を進呈(数に限りがあります)。

■護摩祈禱 凶みくじが吉に変わる!!

■特別護摩 ■凶返し「吉祥護摩」

■左義長(どんど焼き)  
しめ縄飾り、古い御守・御札などをお焚き上げし無病息災・家内安全などをご祈禱します。

---

## 初不動護摩大祭

◆ 令和5年 1月28日(土) 15:00～(受付 14時～16時) 場所:不動堂

不動明王の智慧の炎で六道の迷いを打ち破る

■信長を救ったとされる身代不動明王の靈験宿る分身護摩札と叶御守があなたをお護りくださいます。

特別護摩修行:年に一度の初不動大祭では、大般若經典の転読加持をうけながら、ご自分で護摩木を護摩壇へ捧げて祈り、煩惱を智慧の炎で焼きつくす護摩修行体験ができます。

授与品: かのうまもり 分身護摩札と叶御守

## 万松寺 節分会

令和5年 厄除け豆まき祈禱・星祭

### 厄除け豆まき祈禱

読経読呪仏陀回向の功德と諸仏菩薩のご加護による、七難即滅・七福即生の祈禱をさせていただきます。あわせて厄難を払うとされる「豆まき」をしていただきます。

時間 12時～17時 受付 11時30分～16時30分  
祈禱料 三千元 (枡をお持ち帰りの場合、別途 二千元)

場所: 本堂 (十一面観世音菩薩真前)

---

### 星祭

本命星と当年星がより吉勢となるよう、除災招福の祈禱をさせていただきます。

時間 12時～17時 受付 11時30分～16時30分  
祈禱料 三千元

場所: 不動堂 (身代不動明王真前)

# 2023 新年の授与品



破魔矢

正月  
守り

正月守り 授与日 1月1日(日)～3日(火)  
節分・旧正月

開運  
招福



身代不動明王のご真前  
でご祈祷した正月限定の  
開運招福守です。



## 正月限定御朱印・御朱印帳

頒布期間 1月1日(日)～31日(火)

◆干支記念書  
(切り絵)



◆卯年限定御朱印帳



※売り切れ次第、終了となります。  
例年人気の授与品となりますので、お早めにお求めください。

頒布期間 1月1日(日)～3日(火)

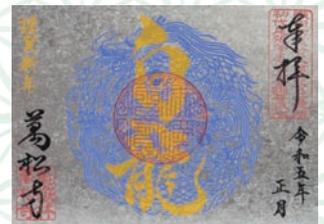
◆名古屋帯  
御朱印帳



※1日10冊限定

頒布期間 1月1日(日)～14日(土)

◆正月限定  
白龍御朱印



御札  
家内安全や商売繁盛など家や会社などが良い氣に包まれるように「家を護る」とされています。家の中の大切な場所となる仏壇や入り口となる玄関の内側に、御札の表が南か東を向くようにお祀りしましょう。

御守  
良いことがあるように(＝開運招福)、悪いことが起きないように(＝厄除け・魔除け)、病気が治るように(＝病氣平癒)など持つ人の願いが叶うように「身を護る」とされています。どこにいてもご加護を受けられるように、カバンや財布にいられて常に身につけてみましょう。

御守や御札は、お正月や季節の節目、特別な願い事があるときに授かり、ご自身の気持ちや祈りを新たに新調します。



### 【御守と御札】

新年は、その年を大禍なく過ごすことを願い、多くの方が御守や御札をお求めになります。今回は御守や御札の意味や祀り方・持ち方、古くなった御守や御札をどうするかなどについて、総務スタッフ小田がお話します。

### 豆知識

感謝を込めて返納を  
御守や御札は、その願いが叶った時や節目の時期に、これまで護っていたいただいたことへの感謝のお礼参りとともに返納し、新しい御守や御札に新調するのがよいでしょう。

万松寺では返納いただいた御守や御札を昇龍焚き上げの時に焚き上げし、仏様への感謝をお届けしています。

もし古くなった御守や御札をお持ちの場合は、このお正月に返納や新調をしていただき、良い年をお過ごしいただければ幸いです。

### 年始の授与品授与時間

1月1日(日祝)～4日(水)  
9時～20時

5日(木)～9日(月祝)  
9時～18時

10日(火)  
10時～18時

※授与品により授与所が異なります。  
祈禱受処または札処にてお求めください。

また、一部授与品はWEBから  
もお求めいただけます。

WEB  
万松寺 WEB 授与

検索